

- 問1 人口が約628万人で、他都県への通勤・通学者数が約80万人と全人口の約12.7%を占めるほど多く、かつ製造品出荷額等の内訳において「石油・石炭製品」が約23.1%で第1位となっている統計データがあります。このデータが示す、千葉県の東京湾沿いに位置する工業地域を何といいますか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 京葉工業地域 2. 瀬戸内工業地域 3. 中京工業地帯 4. 阪神工業地帯
- 問2 かつて果樹園が広がっていた「鍋島農場」が、現在のように博物館や学校、多くの住宅が立ち並び「松濤」という地域へと姿を変えた背景にある、都市の機能が拡大し土地利用が変化する現象を何と呼びますか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. 情報化 2. 都市化 3. 工業化 4. 過疎化
- 問3 国土地理院の発行する地形図において、皇居外苑の南側に位置し、法務省や警視庁といった官公庁の建物に隣接して記載されている歴史的建造物（門）の名称として正しいものを選択してください。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 二重橋 2. 半蔵門 3. 日比谷門 4. 桜田門
- 問4 6月から10月にかけてピーマンの出荷量がピークを迎える茨城県など、関東地方の太平洋側に位置する地域の「冬の気候」について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 季節風が山脈に突き当たるため、冬の時期に雨や雪の日が最も多くなる。 2. 一年を通じて降水量が少なく、冬でも月平均気温が常に15度を超える。 3. 北西からの季節風の影響で、晴天の日が多くなり、乾燥した強い風が吹く。 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい北東の風の影響で、冬は常に霧が発生する。
- 問5 東京都中央卸売市場において、キャベツの出荷量のうち関東地方の県が占める割合が40パーセントに達している背景には、どのような農業の特色がありますか。最も適切な説明を選んでください。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 暖かい気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める促成栽培が大規模に行われているため。 2. 広大な土地を活用し、機械化を進めることで、九州地方などの遠隔地から大量に輸送する体制が整っているため。 3. 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。 4. 標高の高い地域の涼しい気候を利用して、夏でもキャベツを栽培できる高冷地農業が発達しているため。
- 問6 関東地方に位置する茨城県は、野菜の産出額が約1890億円という非常に高い数値を記録しています。このように、巨大な消費地である東京などの首都圏への近さを活かし、新鮮な野菜を大量に供給する農業の形態を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 促成栽培 2. 抑制栽培 3. 近郊農業 4. 施設園芸
- 問7 関東地方の各都県の工業について述べた次の文のうち、2011年の統計において製造品出荷額の合計が約11兆9000億円にのぼり、化学や石油・石炭製品、鉄鋼などの重化学工業を主体とする千葉県の特徴を説明しているものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 情報通信機械器具などの電気機械工業の割合が高く、内陸型の工業が発達している。 2. 印刷業や出版業の割合が他県に比べて高く、出荷額合計は約8.9兆円である。 3. 化学・石油・鉄鋼を中心とした大規模な工場が集まり、重化学工業の割合が突出している。 4. 自動車などの輸送用機械の割合が最も高く、出荷額合計は約17.9兆円に達する。
- 問8 明治時代に日本の近代化を支えた、群馬県を中心に分布する養蚕・製糸業に関連する世界文化遺産は何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 明治日本の産業革命遺産 2. 白川郷・五箇山の合掌造り集落 3. 富岡製糸場と絹産業遺産群 4. 石見銀山遺跡とその文化的景観
- 問9 栃木県、群馬県、茨城県の3県にまたがる工業地域の説明として正しいものはどれか。製品出荷額の内訳において、金属、化学、食品などの他業種に比べて機械工業の割合が非常に高く、出荷額の総計が約30兆円規模に達するという特徴がある。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 京葉工業地域 2. 鹿島臨海工業地域 3. 北関東工業地域 4. 京浜工業地帯
- 問10 千葉県に位置する成田国際空港が、横浜港や名古屋港などの大規模な海港を抑えて、貿易額（輸出入額）で国内首位となっている理由として最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 世界最大のコンテナターミナルを有し、大型貨物船による大量輸送のハブとなっているため。 2. 旅客数が日本で最も多く、入国者が持ち込む免税品の総額が貿易額に含まれているため。 3. IC（集積回路）や医薬品など、小型で軽量かつ高価な製品の取り扱いが多いため。 4. 鉄鉱石や原油といった、日本の産業に不可欠な重量のある資源の輸入拠点となっているため。
- 問11 京浜工業地帯において、出版・印刷業や情報通信などの情報サービス機能が高度に集積している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 政治や経済の中枢である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため 2. 労働賃金が他の工業地域に比べて非常に低く、労働集約的な産業の維持に適しているため 3. 内陸部に広大な土地が確保されており、大規模な工場の建設が他の地域よりも容易であったため 4. 原料となる木材やパルプの輸入拠点となる大規模な港湾が、この地域にのみ集中しているため
- 問12 2015年の統計において、東京都の住宅地の平均地価は1平方メートルあたり323.8千円と、周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県に比べて著しく高い数値を示しています。このような状況下で、東京都の「昼間人口」が「夜間人口（常住人口）」を大きく上回り、昼夜間人口比率が118.1%に達している主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 東京都内の大学や事業所が次々と周辺県へ移転したことで、周辺県から都内へ買い出しに来る人が増えたため。 2. 住宅地の平均地価が高い東京都を避け、住居を周辺県に求めながら、都内へ通勤・通学する人が多いため。 3. 周辺県の住宅地の平均地価が東京都を上回ったため、都内に住居を構えて周辺県へ通勤・通学する人が増えたため。 4. 東京都の夜間人口が急激に増加したことにより、相対的に昼間の活動人口が少なく見えるようになったため。
- 問13 東北地方の山形県や九州地方の大分県など、他地方の農業県とともに統計資料で取り上げられることがある、関東地方北部の内陸県を答えなさい。この県は、利根川の支流などが流れる平野部での稲作が盛んな特徴を持っている。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 福島県 2. 滋賀県 3. 群馬県 4. 栃木県

答え合わせ・解説

問1	答え 1 京葉工業地域	千葉県の東京湾沿いに広がるこの地域は、1950年代から大規模な埋め立て地が造成され、製油所や製鉄所、火力発電所が建設されました。これにより、国内最大規模の石油コンビナートが形成されたため、石油・石炭製品の割合が非常に高いのが特徴です。また、東京都に隣接していることから、昼間は都心へ通勤・通学する人が多いという人口移動の特色も持っています。
問2	答え 2 都市化	都市の周辺部において、人口の増加や経済活動の拡大に伴い、農地や森林が住宅地や文教地区、商業地などへとつくり替えられる現象を都市化と呼びます。松漣の事例は、かつての広大な農場が都心部の発展に合わせて高級住宅地や美術館などが並ぶ地域へと変容した、土地利用の変化の典型的な具体例として知られています。
問3	答え 4 桜田門	皇居の南側に位置する桜田門は、地形図上では警視庁の目の前に記される重要なランドマークです。江戸城の遺構であるとともに、幕末の大老・井伊直弼が暗殺された「桜田門外の変」の舞台としても知られています。二重橋は正門鉄橋を指し、日比谷門は現在の霞が関方面に近い位置にありました。
問4	答え 3 北西からの季節風の影響で、晴天の日が多くなり、乾燥した強い風が吹く。	茨城県などの関東地方（太平洋側）では、冬は北西の季節風が山を越えてくるため、水分が失われた乾燥した風が吹き、晴天が続くのが大きな特徴です。これに対し、冬に雨や雪が多くなるのは日本海側の気候であり、北東からの冷たい風（やませ）の影響で気温が上がりにくくなるのは東北地方の太平洋側の夏に見られる現象です。農業においては、こうした気候特性を理解することが地域の産業を理解する鍵となります。
問5	答え 3 大消費地である東京に近い利点を生かし、鮮度の高い野菜を供給する近郊農業が盛んであるため。	千葉県や茨城県などの関東地方では、巨大な消費地である東京に隣接しているという地理的条件を活かした「近郊農業」が発展しています。キャベツのように重量があり、鮮度が求められる野菜は、輸送距離が短い近郊地域からの出荷が有利になります。そのため、東京都中央卸売市場の出荷量統計においても、関東地方の占める割合が約4割という高い水準になっています。
問6	答え 3 近郊農業	茨城県は広大な関東平野に位置し、高速道路網などを通じて大消費地である東京へ短時間で農産物を運ぶことができます。このように消費地のすぐ近くで新鮮な農作物を生産し供給する形態を近郊農業と呼びます。野菜は鮮度が重要視されるため、この立地条件は大きな強みとなります。
問7	答え 3 化学・石油・鉄鋼を中心とした大規模な工場が集まり、重化学工業の割合が突出している。	千葉県は、京葉工業地域において原材料の輸入や製品の輸出に便利な臨海部の特性を活かし、化学、石油・石炭製品、鉄鋼の3業種で出荷額の半分以上を占める産業構造を持っています。選択肢にある輸送用機械中心の構成は神奈川県（京浜工業地帯）、印刷業の高さは東京都、情報通信機械の高さは山形県などの特徴に該当します。
問8	答え 3 富岡製糸場と絹産業遺産群	明治政府が設立した官営模範工場である富岡製糸場を中心に、田島弥平旧宅などの養蚕に関わる遺産が含まれます。これらは、日本の生糸を世界に輸出するための技術向上と近代化に大きく貢献しました。
問9	答え 3 北関東工業地域	栃木・群馬・茨城の3県に広がるこの工業地域は、かつての繊維工業から転換し、現在は自動車や電気機器などの機械工業が中心となっています。内陸部に位置しながらも、東京などの大消費地に近い利便性を活かして成長し、京浜工業地帯の出荷額を上回るほどの規模になっています。
問10	答え 3 IC（集積回路）や医薬品など、小型で軽量かつ高価な製品の取り扱いが多いため。	航空輸送は船便に比べて運賃が高いため、短時間で輸送が求められるものや、製品の価値が高いものが優先的に運ばれます。成田国際空港では、パソコンやスマートフォンの部品となるICチップ、精密機械、高額な医薬品などが多く取引されており、これらは単位重量あたりの価格が非常に高いため、貿易総額を押し上げる要因となっています。
問11	答え 1 政治や経済の中核である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため	京浜工業地帯は、本社機能が集まる東京から横浜にかけてのエリアに形成されています。出版・印刷業は、最新の情報を取り扱う必要があるため、出版社や新聞社が集中する都市部に工場を構えることが有利に働きます。また、膨大な購買力を持つ消費者が密集しているため、輸送コストを抑えて製品を供給できるメリットもあります。
問12	答え 2 住宅地の平均地価が高い東京都を避け、住居を周辺県に求めながら、都内へ通勤・通学する人が多いため。	東京都は日本の政治・経済・文化の中心地であり、多くの企業や学校が集中しています。しかし、資料にある通り東京都の住宅地の平均地価は周辺県に比べて非常に高いため、人々は地価の比較的安い埼玉県や千葉県、神奈川県などの周辺県に住居を構える傾向があります。その結果、平日の昼間には周辺県から東京都へ多くの人が通勤・通学のために移動し、昼間人口が夜間人口（常住人口）を上回る「昼夜間人口比率」が高い状態になります。
問13	答え 4 栃木県	栃木県は関東地方を代表する農業県の一つであり、米の産出額などの統計において、山形県や大分県といった各地方の主要な農業県と比較されることがあります。北関東の内陸部という地理的条件を活かし、水田単作地帯だけでなく、園芸農業も発展しています。同じ北関東の内陸県である群馬県は、からっ風を利用した畑作や畜産のイメージが強いのに対し、栃木県は平野部での安定した米作りが大きな特徴です。

- 問1 東京都中央卸売市場におけるキャベツの出荷量について、上位5県のうち、千葉県と茨城県などの関東地方の県が占める合計の割合を統計で示した際、その数値として適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 50パーセント 2. 70パーセント 3. 40パーセント 4. 90パーセント
-
- 問2 関東平野の台地部分を広く覆っている、富士山や箱根山などの火山活動によって噴出した物質が長い年月をかけて堆積してできた赤土の層を何といいますか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. シラス台地 2. マサ土 3. 関東ローム層 4. 泥炭地
-
- 問3 群馬県沼田市周辺の地形的特徴について述べた次の文のうち、適切なものはどれですか。この地域では、片品川沿いの標高約331mにある沼田駅付近と、城跡や市街地が位置する標高417m以上の高台が、急な崖によって隔てられています。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 川の流れによって削られた平坦面と、その縁にある急な崖が階段状に重なる河岸段丘という地形が発達している。 2. 土砂が山地から平地に流れ出た場所に扇状地が形成され、その最も低い場所に沼田城跡が位置している。 3. 大規模な火山活動によって形成されたカルデラ地形であり、中央のくぼんだ場所に市街地が広がっている。 4. 河口付近に土砂が堆積してできた三角州であり、標高差がほとんどない平坦な土地に駅や住宅が密集している。
-
- 問4 日本の河川と関東地方の冬の気候について述べた文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。 2. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。 3. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。 4. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。
-
- 問5 千葉県の産業構造について、製造品出荷額と野菜産出額の双方が高い水準にある背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を活かした工場の冷却水確保と、寒冷地特有の野菜生産が全国的に評価されているため 2. 東京に近いという立地を活かした大規模な工業地域と、大消費地向けの農作物の生産が両立しているため 3. 県全域が山がちな地形で平地が少ないため、限られた土地を工業と農業で効率的に分け合っているため 4. 海外輸出に特化した巨大な港湾施設により、原材料の加工貿易と農産物の海外出荷が産業の柱となっているため
-
- 問6 千葉県の東京湾沿岸に広がる工業地域では、製造品出荷額の内訳において化学が約22.5%、石油・石炭製品が約19.8%、鉄鋼が約14.5%を占めるなど、重化学工業の割合が非常に高いという特徴があります。この工業地域の名称を答えなさい。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
1. 京浜工業地帯 2. 京葉工業地域 3. 鹿島臨海工業地域 4. 中京工業地帯
-
- 問7 人口統計において、夜間人口を100とした場合の昼間人口の割合を「昼夜間人口比率」と呼びます。つくば市のように、昼間人口が夜間人口を上回っている（比率が100を超える）状況を示す統計上の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 夜間人口 > 昼間人口 2. 過疎化による若年層の流出 3. 昼間人口 > 夜間人口 4. ドーナツ化現象による中心部の空洞化
-
- 問8 関東平野に広がる台地では、富士山などの噴火によって飛散した火山灰が堆積してできた、赤土の地層が厚く見られます。この地層は水はけが非常に良いという性質を持っているため、古くから水田よりも野菜などの栽培を行う農地として利用されてきました。この地層の名称と、その土地利用の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. マサ土 ― 畑 2. 関東ローム層 ― 水田 3. シラス台地 ― 水田 4. 関東ローム層 ― 畑
-
- 問9 1995年を基準とした人口変化の統計において、東京都中央区などの都心部で人口が急激な右肩上がりの増加に転じている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 多摩市などの郊外で大規模なニュータウン開発が行われ、若年層の移住が進んだため。 2. 高度経済成長期に地方から都市部への人口流入が続き、都市全体の面積が郊外へ拡大したため。 3. 地方の過疎化を防ぐために、政府が大都市への人口集中を制限する政策を実施したため。 4. 都心部において工場跡地やオフィス跡地が再開発され、居住機能を持つ高層マンションが増加したため。
-
- 問10 日本の河川について述べた次の文のうち、利根川の特徴を正しく説明しているものはどれですか。統計上の数値に基づき、適切なものを選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 東北地方で最も長い河川であり、岩手県から宮城県へと流れ、太平洋に注いでいる。 2. 日本で最も長い河川であり、その長さは約367キロメートルに及び、長野県から新潟県へと流れている。 3. 北海道で最も流域面積が広く、石狩平野を流れて日本海に注ぐ日本で2番目に流域面積が広い河川である。 4. 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。
-
- 問11 関東地方の各都県を比較した統計において、埼玉県は「昼夜間人口比率」が全国でも極めて低い水準にあります。この指標の説明および埼玉県の状況として正しいものはどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 昼間人口100人に対する夜間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく上回っている。 2. 1年間の人口流入数と流出数の差のことで、埼玉県では流入数が流出数を上回っている。 3. 夜間人口100人に対する昼間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく下回っている。 4. 面積1平方キロメートルあたりの昼間人口のことで、埼玉県は東京都よりも高い数値である。
-
- 問12 京浜工業地帯において、出版・印刷業や情報通信などの情報サービス機能が高度に集積している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 内陸部に広大な土地が確保されており、大規模な工場の建設が他の地域よりも容易であったため 2. 政治や経済の中核である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため 3. 労働賃金が他の工業地域に比べて非常に低く、労働集約的な産業の維持に適しているため 4. 原料となる木材やパルプの輸入拠点となる大規模な港湾が、この地域にのみ集中しているため
-
- 問13 千葉県の浦安市から袖ケ浦市、富津市に至る東京湾の東岸に位置する工業地域について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 広大な埋立地を利用して、石油化学コンビナートや製鉄所などの大規模な工場が集中している。 2. 高速道路のインターチェンジ付近に、電子部品やIC（集積回路）を製造する工場が進出している。 3. 古くからの市街地を中心に、出版・印刷業や機械工業などの都市型工業が発達している。 4. 豊かな水資源と電力を利用して、内陸部でアルミニウム工業や繊維工業が発展している。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 40パーセント	東京都中央卸売市場におけるキャベツの出荷状況をまとめた統計資料によると、出荷量の上位5県には関東地方の県が多く含まれています。その合計割合は、全体を示す帯グラフなどの指標において、0から40パーセントまでの範囲を占める規模となっており、東京都にとって関東地方が主要な供給源であることを示しています。
問2	答え 3 関東ローム層	関東平野の大部分を覆うこの層は、主に富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が風に運ばれ、堆積したものです。火山灰に含まれる鉄分などの鉱物が酸化しているため、独特の赤みを帯びています。九州南部に広がる火山灰層であるシラス台地や、花こう岩が風化してできた中国地方に多いマサ土との違いを区別しましょう。
問3	答え 1 川の流れによって削られた平坦面と、その縁にある急な崖が階段状に重なる河岸段丘という地形が発達している。	沼田市は、河川の浸食作用によって形成された「河岸段丘」の代表的な例として知られています。川沿いの低地（段丘下）と、かつての河床が取り残されてできた高台（段丘面）の間には、段丘崖と呼ばれる急斜面が存在します。沼田市では、生活の拠点となる城跡や市街地は浸水被害の少ない高台に、鉄道（沼田駅）は傾斜を避けるために川沿いの低地に設置されるという、地形に応じた土地利用がなされています。
問4	答え 2 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。	日本で流域面積が最も広い河川は利根川です。また、日本の冬には大陸側から北西の季節風が吹くため、山脈を越えた関東地方では乾燥した晴天の日が多くなります。なお、信濃川は日本で最も長さが長い河川です。
問5	答え 2 東京に近いという立地を活かした大規模な工業地域と、大消費地向けの農作物の生産が両立しているため	千葉県は、東京湾沿いの埋立地を利用した京葉工業地域で化学や鉄鋼などの製造業が発達する一方、内陸の平坦な土地では東京という巨大市場に向けた野菜作り（近郊農業）が盛んになりました。この「大都市への近さ」という地理的要因が、工業と農業の両方の発展を支える共通の背景となっています。千葉県は全国的に見ても平地が多い県であり、気候も温暖です。
問6	答え 2 京葉工業地域	千葉県の臨海部に位置する京葉工業地域は、大規模な埋め立て地に石油コンビナートや製鉄所が計画的に配置されたことで発展しました。そのため、他の工業地帯と比較しても、化学、石油・石炭、鉄鋼といった重化学工業の出荷額が占める割合が極めて高いのが特徴です。
問7	答え 3 昼間人口 > 夜間人口	昼間人口は「夜間人口 + 流入人口 - 流出口」で計算されます。つくば市の場合は、研究機関や大学への通勤・通学による流入人口が、他市町村へ働きに出る流出人口を上回っているため、昼間人口の方が大きくなります。これに対し、住宅が密集する周辺のベッドタウンでは、昼間に人が都心へ流出するため、夜間人口の方が多くなるのが一般的です。
問8	答え 4 関東ローム層 ― 畑	関東平野の台地部分は、火山灰が堆積してできた「関東ローム層」という地層に覆われています。この土壌は粒子が細かく隙間が多いため、水はけが非常に良く、水を溜めておく必要がある水田には向きません。そのため、根菜類や葉物野菜などの栽培を行う「畑」として活用されてきた歴史があります。
問9	答え 4 都心部において工場跡地やオフィス跡地が再開発され、居住機能を持つ高層マンションが増加したため。	1995年以降の都心部での人口増加は、バブル崩壊後の地価下落や土地利用の変化に伴う「再開発」が主な要因です。かつてはドーナツ化現象により人口が減少していた中央区などの都心部において、利便性を重視する世帯向けに大規模な住宅供給が行われました。これにより、郊外ではなくあえて都心に住むという人口の動きが鮮明になりました。
問10	答え 4 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。	利根川は「坂東太郎」の異名を持ち、流域面積が日本で最も広い河川です。その流域は群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・長野の6都県という広大な範囲にまたがっており、首都圏の生活や産業を支える重要な水資源となっています。日本で最も長い河川は信濃川、2番目に流域面積が広い河川は石狩川です。
問11	答え 3 夜間人口100人に対する昼間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく下回っている。	昼夜間人口比率は「（昼間人口÷夜間人口）×100」で算出されます。埼玉県は、夜間人口が約719万人に対し、昼間人口が約637万人と大きく下回っており、比率は90人を割り込んでいます。これは、日中に県外へ通勤・通学する人口が、県内へ入ってくる人口よりも圧倒的に多いことを示しています。
問12	答え 2 政治や経済の中枢である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため	京浜工業地帯は、本社機能が集まる東京から横浜にかけてのエリアに形成されています。出版・印刷業は、最新の情報を取り扱う必要があるため、出版社や新聞社が集中する都市部に工場を構えることが有利に働きます。また、膨大な購買力を持つ消費者が密集しているため、輸送コストを抑えて製品を供給できるメリットもあります。
問13	答え 1 広大な埋立地を利用して、石油化学コンビナートや製鉄所などの大規模な工場が集中している。	千葉県側の東京湾沿岸に広がる京葉工業地域は、戦後の高度経済成長期に大規模な埋立が行われて形成されました。この地域は原料の輸入や製品の出荷に便利な臨海部の利点を活かし、広大な敷地を必要とする石油化学工業や鉄鋼業といった重化学工業の割合が非常に高いことが特徴です。

- 問1 冬の関東平野において、北西から吹く季節風が非常に乾燥している理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2023年 和歌山県公立入試 類似）

1. 関東山地の標高が低いため、海からの湿った空気が入ってこないため。

2. 太平洋の上空を通過する際に、黒潮の影響で水分が蒸発してしまうため。

3. シベリア大陸から吹いてくる風が、海を一切通らずに直接関東へ届くため。

4. 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。
- 問2 関東地方の太平洋側に突き出た半島状の地形を持ち、野菜の産出額が約863億円、果実の産出額が約854億円にのぼるなど、農業が非常に盛んな県はどこですか。 （2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 茨城県

2. 神奈川県

3. 埼玉県

4. 千葉県
- 問3 関東地方の北東部に位置し、東側は太平洋に面している県です。南側は利根川などを境に千葉県と接し、西側では栃木県や埼玉県と隣接しているこの県の名称を答えなさい。 （2018年 富山県公立入試 類似）

1. 茨城県

2. 千葉県

3. 栃木県

4. 群馬県
- 問4 栃木県・群馬県・茨城県を中心とする北関東の工業地域において、1960年代には内陸部に点在していた工場の分布が、近年では特定の交通網に沿って集中するように変化しています。この地域で新しく工場や物流拠点が建設されている場所の特徴として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 （2017年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 大型貨物船が停泊できる港湾の付近

2. 高速道路のインターチェンジ周辺

3. 貨物列車の積み込みを行う鉄道駅の周辺

4. 広大な農地を確保しやすい山間部の急斜面
- 問5 神奈川県藤沢市にある江の島は、干潮時に沿岸流が運んできた砂が堆積し、本土と地続きになることがあります。このように、島と陸地が砂州によってつながった地形を何と呼びますか。 （2020年 東京都公立入試 類似）

1. 砂嘴

2. カルスト地形

3. トンボロ（陸繋島）

4. リアス海岸
- 問6 近年、日本の大都市圏で見られる「都心回帰現象」が起きている背景とその仕組みについて、適切な説明はどれか選びなさい。 （2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 都市中心部の地価が下落し、再開発によって居住環境が整備されたことで、利便性を重視する世帯の人口流入が進んだ。

2. 郊外の交通網が整備されたことで、都心に住まなくても短時間で通勤できるようになったため、都心の居住ニーズが高まった。

3. 都市部での高齢化が深刻化したため、介護施設を確保しやすい郊外から、医療機関の多い都心へ高齢者が一斉に移り住んだ。

4. 地方公共団体が都心居住者に補助金を支給し、郊外から都市中心部への強制的な移住を進めた。
- 問7 複数の鉄道が利用できる利便性の高い地域において、かつて工場や駐車場、厚生施設などが広がっていた広大な土地が取り壊され、跡地に20階を超えるような高層マンションが建設される事例が増えています。このような都市再開発に伴う土地利用の変化と、その結果として生じる現象の説明として最も適切なものはどれですか。 （2019年 東京都公立入試 類似）

1. 都心部での工場の新設が促進され、周辺地域との工業的なつながりが強まる。

2. 低層住宅を中心としたゆとりある住宅街が形成され、土地利用の集約度が低下する

3. 土地利用の高度化が進み、利便性を求める層が流入することで都心部の人口が急増する。

4. 郊外への人口流出が加速することで、都心部の夜間人口が大幅に減少する。
- 問8 関東地方に位置し、横浜市などの大都市を擁する地域における産業構造の特色を説明した資料があります。その資料において、外国人観光客数が年間120万人を超え、就業者割合が第一次産業で約2%、第二次産業で約23%、第三次産業で約75%を示している地域の状況として、最も適切なものはどれですか。 （2018年 山形県公立入試 類似）

1. 東京都に隣接しているものの、豊かな自然景観を保護するために開発が制限されており、第三次産業よりも第一次産業の成長が著しい。

2. 内陸部の工業団地開発により第二次産業の割合が全国で最も高く、製造業に従事する外国人労働者が多いため、観光客数も増加傾向にある。

3. 広大な平野を利用した近郊農業が盛んであり、就業者の大半が第一次産業に従事しているが、観光地としての側面も併せ持っている。

4. 都市化が進んでおり、商業やサービス業を中心とした第三次産業の割合が極めて高い一方で、工業地帯を抱えるため第二次産業も一定の割合を維持している。
- 問9 東京都の工業出荷額の内訳をまとめた資料では、輸送用機械に次いで、印刷業が13.1%、情報通信機械が10.4%、電気機械が7.5%を占めるという特徴があります。このように、巨大な消費地や情報の中心地であるという立地条件を活かした工業の形態を何と呼びますか。 （2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 先端技術産業

2. 重化学工業

3. 地場産業

4. 都市型工業
- 問10 1919年ごろの地形図において、現在の東京都渋谷区松濤付近は「鍋島農場」と呼ばれていました。当時のこの地点で主に見られた土地利用として、最も適切なものはどれですか。 （2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. 水田

2. 荒地

3. 針葉樹林

4. 果樹園
- 問11 幕末にアメリカのペリーが来航した浦賀や、日米修好通商条約によって開港が決められ、その後の日本で最大の貿易額を誇る港へと発展した横浜が位置する都道府県として正しいものを選びなさい。 （2016年 山口県公立入試 類似）

1. 静岡県

2. 東京都

3. 千葉県

4. 神奈川県
- 問12 日本の河川について述べた次の文のうち、利根川の特徴を正しく説明しているものはどれですか。統計上の数値に基づき、適切なものを選びなさい。 （2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 日本で最も長い河川であり、その長さは約367キロメートルに及び、長野県から新潟県へと流れている。

2. 北海道で最も流域面積が広く、石狩平野を流れて日本海に注ぐ日本で2番目に流域面積が広い河川である。

3. 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。

4. 東北地方で最も長い河川であり、岩手県から宮城県へと流れ、太平洋に注いでいる。
- 問13 尾瀬国立公園は、広大な湿原や山岳地帯を有し、日本の複数の地方にまたがって位置することで知られています。この国立公園が位置している4つの県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. 群馬県・長野県・福島県・山形県

2. 群馬県・山梨県・静岡県・長野県

3. 栃木県・新潟県・山形県・長野県

4. 群馬県・栃木県・福島県・新潟県

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。	冬の北西の季節風は、日本海を渡る際に水蒸気を蓄えますが、本州中央部の高い山脈を越えるときに強制的に上昇させられ、冷却されることで日本海側に雪や雨を降らせます。山を越えて関東平野に吹き下ろすときには水分をほとんど含んでいない状態になるため、晴天が多く乾燥した気候をもたらします。この仕組みは地理の因果関係を理解する上で非常に重要です。
問2	答え 4 千葉県	千葉県は房総半島を擁し、三方を海に囲まれた温暖な気候と平坦な土地を活かした農業が盛んです。統計上でも野菜と果実の産出額が共に高く、関東地方において食料供給の重要な役割を担っています。
問3	答え 1 茨城県	関東地方の北東端に位置する県で、県庁所在地は水戸市です。東側には鹿島臨海工業地帯などが広がる長い海岸線があり、北関東3県の中で唯一海に面しています。南側は利根川を挟んで千葉県と、西側は関東平野の中で栃木県や埼玉県と境界を接しています。
問4	答え 2 高速道路のインターチェンジ周辺	自動車輸送の重要性が高まったことで、トラックによる原材料の搬入や製品の出荷をよりスムーズに行う必要が生じました。北関東では東北自動車道や関越自動車道などの高速道路網が整備されたため、移動時間を短縮し輸送の効率性を高めることができるインターチェンジ付近に工場や物流センターが密集するようになりました。
問5	答え 3 トンボ口（陸繋島）	沿岸流によって運ばれた砂が、島と対岸の間に堤防のように堆積したものを砂州と呼びます。この砂州によって島が陸地とつながった状態、またはその地形そのものをトンボ口（陸繋島）といいます。江の島は日本における代表的なトンボ口の例として知られています。
問6	答え 1 都市中心部の地価が下落し、再開発によって居住環境が整備されたことで、利便性を重視する世帯の人口流入が進んだ。	都心回帰現象の主な要因は、バブル経済崩壊後の地価下落によって都心部に住宅を確保しやすくなったことや、職住近接（職場と自宅が近いこと）を求める共働き世帯の増加です。これに合わせ、鉄道駅周辺や工場跡地での再開発が進み、高層マンションが多数供給されたことが、郊外からの人口流入を後押ししました。
問7	答え 3 土地利用の高度化が進み、利便性を求める層が流入することで都心部の人口が急増する。	鉄道の結節点など交通利便性の高い地域では、かつての工場跡地などを利用して大規模な高層マンションを建設する再開発が行われます。これにより、限られた面積の土地をより効率的に、かつ多人数が居住できるように活用する「土地利用の高度化」が進みます。この現象は「都心回帰」とも呼ばれ、かつて減少傾向にあった都心部の人口が急増する要因となっています。
問8	答え 4 都市化が進んでおり、商業やサービス業を中心とした第三次産業の割合が極めて高い一方で、工業地帯を抱えるため第二次産業も一定の割合を維持している。	神奈川県（横浜市付近）は、人口が集中する都市部において商業やサービス業といった第三次産業が高度に発達しており、就業者割合の約4分の3を占めています。同時に、京浜工業地帯などの工業集積があるため、第二次産業の割合も20%を超える水準を保っているのが特徴です。また、国際的な港湾都市である横浜などは外国人観光客にも人気のスポットとなっており、100万人を超える規模の観光需要を支えています。
問9	答え 4 都市型工業	東京都は人口が極めて多い大消費地であり、出版社や報道機関、企業の本社などが集中しています。そのため、情報の伝達に必要な印刷物や、情報通信機器、電気機械といった、消費者のニーズに素早く対応する必要がある製品の製造が盛んです。このような大都市特有の背景を持った工業を都市型工業といいます。
問10	答え 4 果樹園	大正時代初期の地形図を確認すると、現在の松清周辺は「鍋島農場」として利用されており、地図上には果樹園を示す記号が広がっていました。この地名は、明治維新後に旧佐賀藩主の鍋島家が茶園や果樹園を営んだことに由来しています。当時の郊外農地が、その後の時代を経て現在の姿へと移り変わっていった歴史的背景があります。
問11	答え 4 神奈川県	1853年にペリーが来航した浦賀（現在の横須賀市）や、開国後に生糸の輸出などで日本最大の貿易港となった横浜は、いずれも現在の神奈川県に位置しています。この地域は江戸幕府のお膝元である江戸に近い要衝として、日本の開国と近代化において中心的な役割を果たしました。
問12	答え 3 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。	利根川は「坂東太郎」の異名を持ち、流域面積が日本で最も広い河川です。その流域は群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・長野の6都県という広大な範囲にまたがっており、首都圏の生活や産業を支える重要な水資源となっています。日本で最も長い河川は信濃川、2番目に流域面積が広い河川は石狩川です。
問13	答え 4 群馬県・栃木県・福島県・新潟県	尾瀬国立公園は、関東地方の群馬県と栃木県、東北地方の福島県、そして中部地方の新潟県という3つの地方の境界線上に位置しています。これらの県境は、国立公園の中心部である尾瀬ヶ原や尾瀬沼の周辺で複雑に接しており、地理的に非常に珍しい環境を形成しています。隣接する山形県や長野県と混同しやすいため注意が必要です。

- 問1 日本の人口動態に関する統計において、東京都では他地域から引っ越してくる人数（転入者数）が、他地域へ引っ越していく人数（転出者数）を大きく上回る状況が続いています。このような人口移動の結果として生じる人口の増加を何と呼びますか。（2018年 三重県公立入試 類似）
1. 自然的増加
 2. 人口爆発
 3. 合計特殊出生率の向上
 4. 社会的増加
-
- 問2 茨城県の産業構造について、消費地との距離や土地利用の観点から説明した文として、適切な記述はどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 原料の輸送コストを抑えるため、石油化学コンビナートはすべて内陸部の山間部に設置されている。
 2. 県内全域で米の単作が行われているため、食料品工業のほとんどは酒造業や米粉加工に限られている。
 3. 首都圏という巨大な消費地に近い利点を活かし、都市部周辺では食料品工業が発達している。
 4. 南部の工業団地は、海外への輸出を専門とするため、空港に隣接した電子部品工場のみで構成されている。
-
- 問3 日本の工業地域のうち、群馬県、栃木県、茨城県の内陸部を中心に発展した地域について説明します。この地域は、かつて京浜工業地帯などに集中していた工場が、用地不足や地価の高騰を避けて移転してきたことで形成されました。製品の搬出において、船舶ではなくトラックによる陸上輸送を主軸としているこの地域の名称を答えなさい。（2022年 山口県公立入試 類似）
1. 京浜工業地帯
 2. 中京工業地帯
 3. 瀬戸内工業地域
 4. 北関東工業地域
-
- 問4 「年間の日照時間」と「住宅用太陽光発電機器の設置数」の関係を示したデータにおいて、日照時間が2000時間を超えるほど長い地域は、一般的に設置数も多くなります。しかし、関東地方に位置するある県は、日照時間が長いにもかかわらず設置数が5万件を下回っており、静岡県や愛知県などの他の太平洋側の県とは異なる傾向を示します。横浜市区庁所在地に持つこの県はどこですか。（2023年 秋田県公立入試 類似）
1. 千葉県
 2. 埼玉県
 3. 東京都
 4. 神奈川県
-
- 問5 茨城県などのように大都市に隣接する地域で行われている、大消費地に近いという立地条件を最大限に生かし、鮮度が重視される野菜などを生産して出荷する農業形態を何と呼ぶか。（2020年 山形県公立入試 類似）
1. 抑制栽培
 2. 二毛作
 3. 促成栽培
 4. 近郊農業
-
- 問6 1970年代初頭から2019年にかけての関東地方における工業出荷額の統計的な変化について、正しく述べているものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. 総出荷額は横ばいであるが、航空機産業の出荷額が約6.7兆円に達し、輸送用機械に代わる基幹産業となった
 2. 輸送用機械の出荷額は1971年時点がピークであり、2019年にかけて出荷額・割合ともに減少が続けている
 3. 産業構造の変化により繊維工業の出荷額が急増し、2019年には地域全体の出荷額の約2割強を占めるようになった
 4. 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した
-
- 問7 日本の空港間における旅客輸送数の統計において、新千歳空港や那覇空港、大阪国際空港など全国各地の主要空港と結ばれる航空路線のうち、圧倒的に大きな輸送数を示し、日本の国内航空網の最大の拠点となっている空港の名称として正しいものはどれですか。（2022年 香川県公立入試 類似）
1. 中部国際空港
 2. 東京国際空港（羽田空港）
 3. 関西国際空港
 4. 成田国際空港
-
- 問8 北関東の栃木県と群馬県の県境付近、渡良瀬川の上流部に位置していた足尾銅山において、鉱毒被害が広範囲に拡大した地理的な理由として最も適切な説明はどれですか。（2019年 大阪府公立入試 類似）
1. 山間部の水源近くに銅山があったため、有害物質が川の流れに乗って下流の平野部にある農地まで運ばれた。
 2. 内陸の盆地で精錬が行われたため、有害物質が霧とともに周辺の山々に蓄積し、土砂崩れを頻発させた。
 3. 利根川の河口付近に位置していたため、潮の満ち引きによって有害物質が千葉県沿岸の漁場に逆流した。
 4. 新潟県側の豪雪地帯から流れる地下水と反応し、有害物質が広範な水田地帯の土壌に浸透した。
-
- 問9 2021年の千葉港の貿易統計において、輸入額全体の約54.5%を石油が占めている一方で、輸出額の上位には石油製品（30.6%）や鉄鋼（21.0%）が並んでいます。このような貿易品目の構成から判断できる、千葉港の港湾としての性質として最も適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本各地で生産された自動車を海外へ輸出することに特化した、自動車専用の輸出港
 2. 首都圏の膨大な人口を支えるために、海外から食料品や衣類を大量に輸入する商業港
 3. 近隣の成田国際空港と連携し、電子部品や精密機械を世界各地に送り出す航空貨物の中継港
 4. 周辺の京葉工業地域において、輸入した資源を加工し製品として出荷する役割を担う工業港
-
- 問10 日本の主要な河川のデータをまとめた資料において、ある河川は「長さが322km、流域面積が16,840平方キロメートル、流れる流域の都道府県数が6」と示されています。この河川について述べた文として、背景や影響を考慮して最も適切なものを選びなさい。（2019年 岩手県公立入試 類似）
1. この河川は、流域面積が日本で2番目に広いため、北海道の泥炭地の地質改良に大きく貢献した。
 2. この河川は、山地が急峻な日本の河川の中では珍しく、国際河川のようにゆったりとした流れが特徴である。
 3. この河川は、日本で最も長さが長いいため、上流と下流での降水量の差による増水が全国で最も激しい。
 4. この河川は、日本で最も広い流域面積を持ち、広大な関東平野の農業用水や都市用水として利用されている。
-
- 問11 関東地方では、神奈川県、埼玉県、千葉県といった周辺の県から東京都心部へ移動する「通勤・通学人口」が非常に多いという特徴があります。このように、都心に勤務・通学する人々の住宅地としての役割を担っている都市や地域を指す言葉として、最も適切なものはどれですか。（2021年 香川県公立入試 類似）
1. 政令指定都市
 2. 工業地域
 3. 限界集落
 4. ベッドタウン
-
- 問12 成田国際空港などの拠点で行われる「航空貿易」において、半導体などの電子部品や医薬品が主要な取引品目となっている理由として、最も適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. 国内の港湾施設が老朽化しており、精密機械を安全に積み下ろしすることができないから
 2. 製品の形が複雑であり、船舶のコンテナに積み込むことが技術的に困難だから
 3. 航空機は船舶に比べて一度に大量の物資を運べるため、輸送コストを最小限に抑えられるから
 4. 製品が重量のわりに価格が高い「高付加価値」なものであり、輸送時間の短縮が重視されるから

答え合わせ・解説

問1	答え 4 社会的増加	人口の増減は、出生と死亡の差によって決まる「自然的増減」と、転入と転出の差によって決まる「社会的増減」の2種類に分けられます。東京都は、進学や就職を目的として地方から多くの人々が流入する「転入超過」の状態にあるため、人口移動に伴う社会的増加が顕著なのが特徴です。
問2	答え 3 首都圏という巨大な消費地に近い利点を活かし、都市部周辺では食料品工業が発達している。	茨城県は首都圏の一角に位置しており、人口の多い消費地に近いという地理的メリットがあります。そのため、鮮度や配送スピードが求められる食料品工業が都市部を中心に発達しました。また、食料品工業は県内で生産される農産物を原材料として活用する場合もあり、農業と工業が密接に関わっている点も特徴です。
問3	答え 4 北関東工業地域	北関東工業地域は、東京近郊の過密化を避ける形で内陸部に発展した代表的な「内陸型工業」の地域です。群馬・栃木・茨城の3県にまたがり、高速道路を利用した首都圏へのアクセスの良さを活かして、機械や食品などの工場が数多く立地しています。
問4	答え 4 神奈川県	太平洋側に位置する神奈川県は、気候的には日照時間が長く太陽光発電に適していますが、実際の設置数は日照時間の短い他県よりも少なくなることがあります。これは、静岡県や愛知県に比べて都市化が著しく、住宅が密集しているという地域的特色が影響しています。こうした統計データの読み取りでは、自然条件（日照）だけでなく、社会条件（人口密度や住宅形態）を組み合わせる考えることが重要です。
問5	答え 4 近郊農業	大都市という大きな市場（大消費地）に近い場所で行われる農業を近郊農業と呼ぶ。消費地までの輸送距離が短いため、鮮度の落ちやすい葉もの野菜などを新鮮なうちに届けることができるほか、輸送費を安く抑えられるという利点がある。茨城県などはこの形態を活用して首都圏へ多くの農産物を供給している。
問6	答え 4 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した	関東地方の工業は、約50年間で総出荷額が10倍近くに拡大しました。1971年時点では輸送用機械の割合は8.5%に過ぎませんでしたが、2019年には22.1%（約6.7兆円）へと急成長しており、自動車産業などが地域の経済を牽引する重要な役割を担うようになっています。
問7	答え 2 東京国際空港（羽田空港）	東京国際空港（羽田空港）は、東京都心へのアクセスが非常に良く、日本の国内航空網におけるハブ（拠点）空港として機能しています。統計上の旅客輸送数では、新千歳（札幌）―羽田間や福岡―羽田間などは世界でもトップクラスの利用者数を誇ります。成田国際空港は主に国際線の拠点としての役割が強く、中部や大阪（伊丹）などの地方拠点空港と比較しても、羽田空港の国内線輸送規模は突出しています。
問8	答え 1 山間部の水源近くに銅山があったため、有害物質が川の流れてに乗って下流の平野部にある農地まで運ばれた。	足尾銅山は渡良瀬川の源流に近い位置にありました。精錬過程で排出された鉛毒や、燃料とするための森林伐採によって生じた土砂が、洪水とともに下流の平野部へ流れ出したことが被害拡大の要因です。このため、被害は栃木県内にとどまらず、渡良瀬川が流れる群馬県、埼玉県、茨城県など広範囲に及びました。
問9	答え 4 周辺の京葉工業地域において、輸入した資源を加工し製品として出荷する役割を担う工業港	千葉港は京葉工業地域の中核に位置しており、エネルギー資源である石油や液化ガスを輸入し、それを加工して石油製品や鉄鋼として輸出するという、重化学工業に特化した「工業港」としての特徴が非常に強いのが特色です。統計上も輸入の過半数が石油であり、輸出の上位を工業製品が占めていることから、この産業構造を読み取ることができます。
問10	答え 4 この河川は、日本で最も広い流域面積を持ち、広大な関東平野の農業用水や都市用水として利用されている。	流域面積とは、その河川に雨水が流れ込む範囲の面積を指します。利根川は日本最大の流域面積を誇り、日本最大の平野である関東平野を流下しています。そのため、流域に住む多くの人口の生活用水や、広大な耕作地を潤す農業用水を供給する極めて重要な役割を担っています。なお、日本一長い河川は信濃川（367km）ですが、流域面積では利根川が上回ります。
問11	答え 4 ベッドタウン	東京都心部での地価の高騰や、鉄道網を中心とした交通機関の発達により、居住機能を周辺の県が分担するようになりました。特に東京に隣接する神奈川・埼玉・千葉の3県は、都心へ1時間程度でアクセスできる場所に大規模な住宅団地が形成されており、昼間は都心へ働きに出る人々が住む街として機能しています。
問12	答え 4 製品が重量のわりに価格が高い「高付加価値」なものであり、輸送時間の短縮が重視されるから	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、運賃を負担しても利益が出る「高付加価値製品（軽量で高価なもの）」が適しています。また、半導体のような技術革新が速い製品や、人命に関わる医薬品などは、輸送期間を短縮することに大きなメリットがあるため、航空貿易が積極的に利用されます。

- 問1 関東地方の工業統計において、千葉県では石油・化学工業の割合が高く、埼玉県では輸送用機械の割合が高いという特色が見られます。このような産業構造の違いが生まれる背景や理由として適切なものはどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. 千葉県は京浜工業地帯の一部として自動車などの輸送用機械の輸出拠点となり、埼玉県は県内の油田から採掘される資源をもとに石油・化学工業を成長させたから。

2. 千葉県は京葉工業地域の沿岸部に位置し、海外からの原料輸入に適した石油・化学コンビナートが形成され、埼玉県は交通網の発達した内陸で加工組立型工業が発展したから。

3. 千葉県は利根川沿いの肥沃な土地を活かした食料品工業を主軸とし、埼玉県は秩父山地の鉱物資源を背景とした鉄鋼業を主軸として発展してきたから。

4. 千葉県は内陸部における電気機械の生産が産業の柱であり、埼玉県は荒川沿いの水資源を利用した大規模な製鉄所の集積によって鉄鋼業が成長したから。
- 問2 ある地域の地形を分析するために、北に位置する高い山の山頂から、南に位置する標高の低い市街地までを直線で結び、その線上の標高の変化をグラフ化した断面図を作成しました。この断面図を作成する際に、地形図から直接読み取る必要がある情報として最も適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 等高線が示す標高の値

2. 市街地の人口密度

3. 道路の舗装率

4. 河川の流域面積
- 問3 地形図において、かつての主要な交通路であった甲州街道の両側に、多くの建物を表す記号が途切れることなく連続して並んでいる地域が見られます。このような建物が集中的に配置されている様子から判断できる、この場所の景観上の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 田畑の中に点在する農村

2. 橋が架かる急な坂道沿いの集落

3. 崖地に沿って広がる住宅地

4. 街道沿いに形成された商店街
- 問4 千葉県の産業や人口の特色について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものを次から選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 日本海側の気候を活かした稲作が盛んで農業産出額は高いが、人口および第3次産業の割合は全国平均を下回っている。

2. 古くからの文化財が多く観光客は多いが、大規模な工業地域を持たないため、製造品出荷額は全国平均を下回る。

3. 観光業が産業の中心であるため第3次産業の割合は非常に高いが、製造品出荷額や農業産出額は全国平均に及ばない。

4. 人口が多く、第3次産業の割合が高いとともに、農業産出額と製造品出荷額がともに全国平均を上回っている。
- 問5 6月から10月にかけてピーマンの出荷量がピークを迎える茨城県など、関東地方の太平洋側に位置する地域の「冬の気候」について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 一年を通じて降水量が少なく、冬でも月平均気温が常に15度を超える。

2. 季節風が山脈に突き当たるため、冬の時期に雨や雪の日が最も多くなる。

3. 北西からの季節風の影響で、晴天の日が多くなり、乾燥した強い風が吹く。

4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい北東の風の影響で、冬は常に霧が発生する。
- 問6 東京都中央卸売市場への農作物の入荷量割合（2021年）を示した資料によると、ある品目において群馬県が5割以上のシェアを占めており、次いで北海道、茨城県、千葉県などからも入荷されています。大消費地である東京に近い関東地方の利点や、北日本の冷涼な気候を活かして生産されているこの農作物として正しいものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
1. じゃがいも

2. もも

3. キャベツ

4. なす
- 問7 関東地方の工業において、内陸部に位置する群馬県の製造品出荷額等の内訳で、自動車製造などの発展を反映して最も高い割合を占める品目は何ですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 石油・石炭製品

2. パルプ・紙

3. 印刷

4. 輸送用機械
- 問8 千葉県における2015年の統計では、夜間人口（常住人口）が約622万人であるのに対し、昼間人口は約558万人となっています。このように、夜間人口に対する昼間人口の割合を示す指標を「昼間人口比率」と呼びますが、このデータに基づいた場合、千葉県の値はどの区分に該当しますか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
1. 100以上105未満

2. 110以上

3. 90未満

4. 95以上100未満
- 問9 日本には海に面していない「内陸県」が8つ存在します。そのうち、関東地方に位置し、日光市などの著名な観光都市や豊かな山岳地帯を擁する県を次の中から選びなさい。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 長野県

2. 栃木県

3. 山梨県

4. 滋賀県
- 問10 茨城県、岐阜県、静岡県、山梨県の4県について、土地の様子や産業を比較した統計資料があります。この資料において、茨城県の数値を示す特徴として正しいものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。

2. 4県の中で果実の産出額が最も高く、山地面積が広いため傾斜地を利用した果樹園経営が盛んだが、製造品出荷額は4県の中で最も低い。

3. 4県の中で製造品出荷額は15兆円を超え最大であるが、野菜よりも茶などの工芸作物の産出額に特色があり、山地面積は茨城県よりも広い。

4. 4県の中で山地面積が最も大きく、農産物の産出額は全体的に低いが、中京工業地帯に近い地理的要因から製造品出荷額が最も高い。
- 問11 東京都内の蔵前駅から隅田川に架かる言問橋までの地域を示した2万5千分の1地形図があります。この地形図から読み取れる、蔵前駅から言問橋までの最短ルート沿いの様子について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
1. 最短ルートを進むと、途中の道路沿いに保健所の地図記号が確認できる。

2. 最短ルートを進むと、途中の道路沿いに裁判所の地図記号が確認できる。

3. 最短ルートを進むと、途中の道路沿いに税務署の地図記号が確認できる。

4. 最短ルートを進むと、途中の道路沿いに交番の地図記号が確認できる。
- 問12 ある県の産業統計において、米の産出額が約156億円、果実の産出額が約83億円であるのに対し、野菜の産出額が約912億円と非常に高く、さらに製造品出荷額等が約9兆522億円に達している県はどこですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
1. 石川県

2. 青森県

3. 茨城県

4. 静岡県

答え合わせ・解説

問1	答え 2 千葉県は京葉工業地域の沿岸部に位置し、海外からの原料輸入に適した石油・化学コンビナートが形成され、埼玉県は交通網の発達した内陸で加工組立型工業が発展したから。	工業の特色は、その地域の地理的条件に強く影響を受けます。千葉県は東京湾の埋立地を利用して巨大な石油・化学コンビナートが建設されたため、基礎素材を生産する重化学工業が強みとなっています。一方、埼玉県は内陸に位置しますが、首都圏の巨大な消費地に近く、高速道路などの交通網が整備されているため、自動車などの輸送用機械を中心とした加工組立型の工業が発展しました。
問2	答え 1 等高線が示す標高の値	断面図は、特定の地点間の地形の起伏（高さの変化）を視覚的に捉えるための図です。そのため、地形図上で標高の等しい地点を結んだ「等高線」を基準にして、各地点の標高をプロットしていく作業が不可欠となります。人口密度や道路の状況、流域面積などは土地利用や人文的な情報であり、地形そのものの起伏を示す断面図の作成に直接は関係しません。
問3	答え 4 街道沿いに形成された商店街	古い街道沿いに建物が密集して並んでいるのは、かつての宿場町や、往来する人々を対象に商売を行う店が集まって形成された街並みを表しています。地形図上では、道路という線状の要素に沿って建物が連続する特徴的なパターンとして描かれ、これは交通の利便性が商業活動に結びついた結果です。
問4	答え 4 人口が多く、第3次産業の割合が高いとともに、農業産出額と製造品出荷額がともに全国平均を上回っている。	千葉県は首都圏の一角として膨大な人口を抱えており、第3次産業有業者割合が高いのが特徴です。産業面では、京葉工業地域による工業生産と、全国有数の農業産出額を両立させており、面積が全国平均に近い中で、これほど多角的に高い指標を示す県は全国的にも珍しい存在です。
問5	答え 3 北西からの季節風の影響で、晴天の日が多くなり、乾燥した強い風が吹く。	茨城県などの関東地方（太平洋側）では、冬は北西の季節風が山を越えてくるため、水分が失われた乾燥した風が吹き、晴天が続くのが大きな特徴です。これに対し、冬に雨や雪が多くなるのは日本海側の気候であり、北東からの冷たい風（やませ）の影響で気温が上がりにくくなるのは東北地方の太平洋側の夏に見られる現象です。農業においては、こうした気候特性を理解することが地域の産業を理解する鍵となります。
問6	答え 3 キャベツ	東京都中央卸売市場で群馬県が過半数の入荷量を占める農作物はキャベツです。群馬県は全国有数のキャベツ産地であり、特に夏季の供給において重要な役割を果たしています。選択肢にある「じゃがいも」は北海道、「なす」は高知県や熊本県、「もも」は山梨県や福島県が主な産地として知られており、統計上のシェアが異なります。
問7	答え 4 輸送用機械	群馬県などの内陸部では、北関東工業地域を中心に自動車工業が発展しており、輸送用機械の割合が高くなっています。一方、石油・石炭製品は臨海部の千葉県で高く、印刷は情報が集積する東京都で高くなっています。
問8	答え 3 90未満	昼間人口比率は「（昼間人口 ÷ 夜間人口）× 100」で算出されます。千葉県の場合、昼間の人口（約558万人）が夜間の人口（約622万人）を大きく下回っており、計算すると約89.7となるため、90未満の区分に該当します。これは東京などの都心部へ流出する通勤・通学者、いわゆる「千葉都民」と呼ばれる層が多いことを反映しています。
問9	答え 2 栃木県	関東地方にある内陸県は、栃木県、群馬県、埼玉県の3県です。山梨県、長野県、滋賀県も内陸県ですが、中部地方や近畿地方に属します。栃木県は日光市を中心に観光業が盛んであり、首都圏からのアクセスも良いため、多くの観光客が訪れます。
問10	答え 1 4県の中で山地面積が最も小さく、野菜の産出額が1,890億円と最も高い数値を示しており、製造品出荷額も11兆円を超える高い水準にある。	統計データを見ると、茨城県は他の3県と比較して山地が少なく平坦な土地が多いため、大規模な農業が可能です。その結果、野菜の産出額は4県の中で突出して高く、近郊農業の強みが表れています。同時に、製造品出荷額も11兆円を超える規模であり、農業と工業がバランスよく、かつ高いレベルで発展していることが読み取れます。山梨県や静岡県は果実の産出額に強みがありますが、野菜の産出額や土地の平坦さでは茨城県が上回ります。
問11	答え 4 最短ルートを進むと、途中の道路沿いに交番の地図記号が確認できる。	地形図上で特定の地点間の経路を確認する場合、道路沿いに配置された地図記号からその地域の利便性や公共機能を知ることができます。台東区の蔵前駅から言問橋方面への最短ルートを進むと、地域の安全を維持するための拠点である「交番」が設置されていることが読み取れます。このように、地図記号と実際の地理的配置を組み合わせて読み取る力は、地域の特色を把握する上で重要です。
問12	答え 3 茨城県	関東地方に位置するこの県は、首都圏という巨大な消費地に隣接している利点を生かし、野菜を中心とした農業が盛んです。また、鹿島臨海工業地帯などの大規模な工業拠点を有しているため、農業産出額だけでなく製造品出荷額等も全国で上位に入る高い水準となっています。